



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月7日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス 上場取引所 東大  
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)廣内 武  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役財務・監査担当 (氏名)吉沢 正明 (TEL)03(3272)2317  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	113,693	△2.3	1,599	1.9	2,471	△6.4	76	△93.4
23年2月期第2四半期	116,417	△4.4	1,569	495.5	2,641	102.3	1,169	21.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	0.49	0.49
23年2月期第2四半期	7.46	7.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	267,576	151,107	56.0	956.34
23年2月期	281,642	158,744	55.8	1,002.34

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 149,864百万円 23年2月期 157,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	—	—	24.00	24.00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	244,800	0.1	10,200	14.2	11,600	10.5	3,500	28.6	22.34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	172,921,669株	23年2月期	172,921,669株
24年2月期2Q	16,215,614株	23年2月期	16,238,791株
24年2月期2Q	156,700,525株	23年2月期2Q	156,676,267株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日～平成23年8月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みから一部には回復が見られたものの、欧米の財政不安による急激な円高と株安の進行などにより、国内景気は先行き不透明な状況で推移しました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、震災による消費マインドの冷え込みが続くなか、節電対策による新たなクール・ビズ需要はあったものの、全般的には厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは、国内事業が震災の影響により売上が大きく減少しましたが、粗利益率の改善と経費の効率化を強力に進め収益確保に努めました。また、海外事業は収益性の改善と新たな成長戦略に向け積極的な施策を推進しました。

以上の結果、連結売上高は1,136億93百万円(前年同期比2.3%減)、連結営業利益は15億99百万円(前年同期比1.9%増)、連結経常利益は24億71百万円(前年同期比6.4%減)、連結四半期純利益は76百万円(前年同期比93.4%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

#### ① アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、震災の影響から売上が大幅に減少しましたが、基幹ブランドを中心に付加価値の高い商品提案の強化と、効率的な事業運営を行ったことで、粗利益率の向上と経費削減が進み、営業利益は当初の計画を上回ることができました。他の国内アパレル子会社においては、オンワード商事株式会社が震災などの影響が大きく減収減益となりましたが、他の子会社の業績は、計画通りに推移しました。

海外事業につきましては、欧州地区の子会社は、売上の拡大基調が進み収益は改善されました。また、アジア・北米地区は事業拡大に向けた計画が順調に推移しました。

#### ② その他の事業

サービス関連事業につきましては、商業施設の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターで、売場設備の新規物件が減少し減収減益となりましたが、ファッション物流事業のアクロストラップ株式会社では、外部受託業務を着実に拡大し増収増益となりました。

リゾート関連事業につきましては、震災以降、予約キャンセルや利用客の減少が大きく影響し前年を下回る結果となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ140億65百万円減少し、2,675億76百万円となりました。これは現金及び預金および売上債権の減少等によるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ64億28百万円減少し、1,164億69百万円となりました。これは主に仕入債務、未払法人税等および借入金の減少等によるものです。純資産は76億37百万円減少し、1,511億7百万円となり、自己資本比率は、56.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益および減価償却費、売上債権の減少等の収入に対し、仕入債務の減少支出、法人税の支払等により25億14百万円の収入(前年同期は3億66百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、売場設備への投資および投資有価証券の取得等により45億85百万円の支出(前年同期は31億47百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済および配当金の支払が主なもので62億37百万円の支出(前年同期は66億77百万円の支出)となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金および現金同等物は前連結会計年度末に比べて81億38百万円減少し、204億95百万円となりました。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

平成24年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年4月8日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しています。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しています。これにより、営業利益は12百万円、経常利益は18百万円、税金等調整前四半期純利益は1,104百万円減少しています。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,681百万円です。

#### ②「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,603	30,939
受取手形及び売掛金	21,906	25,399
商品及び製品	25,681	25,738
仕掛品	1,424	1,254
原材料及び貯蔵品	4,876	3,364
その他	12,897	9,572
貸倒引当金	△672	△723
流動資産合計	88,717	95,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,571	25,531
土地	49,489	53,100
その他(純額)	8,748	7,991
有形固定資産合計	83,809	86,622
無形固定資産		
のれん	42,769	43,731
その他	2,997	3,013
無形固定資産合計	45,767	46,745
投資その他の資産		
投資有価証券	32,116	34,592
その他	19,660	20,491
貸倒引当金	△2,495	△2,354
投資その他の資産合計	49,282	52,729
固定資産合計	178,859	186,097
資産合計	267,576	281,642

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,217	32,703
短期借入金	30,633	30,887
未払法人税等	2,035	4,533
賞与引当金	1,822	1,568
役員賞与引当金	127	299
返品調整引当金	412	869
ポイント引当金	177	163
その他	11,176	11,650
流動負債合計	77,602	82,677
固定負債		
長期借入金	20,537	22,298
退職給付引当金	3,915	3,468
役員退職慰労引当金	130	119
その他	14,283	14,334
固定負債合計	38,866	40,220
負債合計	116,469	122,898
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	116,130	117,776
自己株式	△23,408	△23,445
株主資本合計	172,845	174,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,502	△2,837
繰延ヘッジ損益	△148	△5
土地再評価差額金	△13,064	△11,003
為替換算調整勘定	△3,265	△3,557
評価・換算差額等合計	△22,980	△17,405
新株予約権	596	532
少数株主持分	645	1,163
純資産合計	151,107	158,744
負債純資産合計	267,576	281,642



## (2) 四半期連結損益計算書

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	116,417	113,693
売上原価	61,909	60,160
売上総利益	54,508	53,532
販売費及び一般管理費	52,938	51,933
営業利益	1,569	1,599
営業外収益		
受取利息	55	55
受取配当金	255	237
受取ロイヤリティー	411	389
受取地代家賃	547	307
その他	1,243	794
営業外収益合計	2,513	1,783
営業外費用		
支払利息	420	337
売場什器等除却損	133	74
為替差損	493	208
デリバティブ評価損	172	76
その他	222	214
営業外費用合計	1,441	910
経常利益	2,641	2,471
特別利益		
固定資産売却益	—	1,048
貸倒引当金戻入額	558	19
その他	104	—
特別利益合計	662	1,068
特別損失		
投資有価証券評価損	43	49
減損損失	129	45
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,086
その他	29	137
特別損失合計	202	1,319
税金等調整前四半期純利益	3,102	2,220
法人税等合計	1,933	2,105
少数株主損益調整前四半期純利益	—	114
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	37
四半期純利益	1,169	76

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,102	2,220
減価償却費	2,707	2,711
減損損失	129	45
のれん償却額	1,826	1,827
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△640	66
退職給付引当金の増減額(△は減少)	276	425
受取利息及び受取配当金	△310	△292
支払利息	420	337
売上債権の増減額(△は増加)	2,648	3,687
たな卸資産の増減額(△は増加)	244	△1,403
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,944	△1,692
その他	△3,636	△2,370
小計	2,824	5,563
利息及び配当金の受取額	465	412
利息の支払額	△418	△326
法人税等の支払額	△3,547	△4,306
法人税等の還付額	1,043	1,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	366	2,514
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△213	△10
定期預金の払戻による収入	347	230
有形固定資産の取得による支出	△1,385	△2,238
投資有価証券の取得による支出	△1,809	△1,101
投資有価証券の売却による収入	13	—
長期前払費用の取得による支出	△328	△378
連結子会社株式の追加取得による支出	—	△1,396
その他	228	309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,147	△4,585
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,496	△315
長期借入れによる収入	2,080	—
長期借入金の返済による支出	△2,276	△1,861
自己株式の取得による支出	△5	△1
配当金の支払額	△3,759	△3,760
その他	△220	△298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,677	△6,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△646	170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,105	△8,138
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の期首残高	32,678	28,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,574	20,495

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	アパレル関連 事業(百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	108,971	7,445	116,417	—	116,417
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	3,599	3,604	(3,604)	—
計	108,977	11,045	120,022	(3,604)	116,417
営業利益	1,483	71	1,555	14	1,569

(注) 事業区分については、当社の事業目的により、アパレル関連事業とその他の事業に区分しています。

アパレル関連事業…………… 紳士服、婦人服等の製造販売

その他の事業…………… 物流関連事業、スポーツ施設の経営、リゾート施設の経営等

## 2 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	98,325	14,118	3,973	116,417	—	116,417
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	822	145	102	1,069	(1,069)	—
計	99,147	14,264	4,075	117,487	(1,069)	116,417
営業利益又は 営業損失(△)	3,494	△2,094	76	1,475	94	1,569

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… アメリカ・中国・韓国

## 3 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	欧州(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)
I 海外売上高	9,183	7,686	16,870
II 連結売上高	—	—	116,417
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.9	6.6	14.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… アメリカ・中国・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、国内および海外において、アパレル関連事業(紳士服、婦人服等の繊維製品の企画、製造および販売)を主な事業内容とし、さらにサービス関連事業およびリゾート関連事業を行っています。

アパレル関連事業を地域別に「日本」、「欧州」、「アジア・北米」と3区分し、「その他の事業」を加えて報告セグメントとしています。

「アパレル関連事業(日本)」は日本において、「アパレル関連事業(欧州)」は欧州において、「アパレル関連事業(アジア・北米)」はアジア、北米においてのアパレル関連事業となります。

「その他の事業」は物流関連事業、スポーツ施設の経営およびリゾート施設の経営等を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	87,452	15,910	2,961	106,324	7,368	113,693	—	113,693
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	795	142	79	1,017	3,108	4,126	△4,126	—
計	88,248	16,052	3,040	107,342	10,477	117,819	△4,126	113,693
セグメント利益	3,610	△498	63	3,175	108	3,283	△1,684	1,599

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,684百万円には、のれんの償却額△1,827百万円およびセグメント間取引消去1,900百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,757百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。